

令和4年度第1回松阪地域高等学校活性化推進協議会

配 付 資 料

- 松阪地域高等学校活性化推進協議会設置要綱・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 令和4年度 松阪地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿・・・・・・・・ P 2
- 【資料1】 令和4年度の協議について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 【資料2】 松阪地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）・・・・ P 4
- 【資料3】 松阪地域の中学校卒業生数（予測）と県立高等学校募集定員・・・・ P 5
- 【資料4】 松阪地域の高等学校の学科・コースについて（R5年度）・・・・ P 6
- 【資料5】 全日制高等学校の設置学科と学級数の推移（松阪地域）・・・・ P 8
- 【資料6】 松阪地域の中学校卒業生進学先の推移・・・・・・・・ P 9
- 【資料7】 松阪地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況・・・・ P 10
- 【資料8】 新しい時代の高等学校教育の在り方
ワーキンググループ審議まとめ（概要）・・・・・・・・ P 12

【別冊資料】 県立高等学校活性化計画（令和4年3月策定）

松阪地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、松阪地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、松阪地域高等学校活性化推進協議会（以下、「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- (1) 今後の松阪地域全体における県立高等学校の在り方に関する事
- (2) 松阪地域の県立高等学校活性化の方策に関する事
- (3) 施設・設備に関する事
- (4) その他検討を要する事

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は令和5年 1月18日から施行する。

令和4年度 松阪地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No		所属及び名前
1	学識経験者	三重大学 地域イノベーション学研究科 准教授 水木 千春
2	地域有識者	松阪商工会議所 事務局次長 井村 彰
3		多気町商工会 事務局長 堀江 勝昭
4		大台町商工会 事務局長 井野 和正
5	市町教育委員会教育長	松阪市教育委員会 教育長 中田 雅喜
6		多気町教育委員会 教育長 小林 真一
7		明和町教育委員会 教育長 下村 良次
8		大台町教育委員会 教育長 森 享
9	県立高等学校長代表	県立松阪高等学校 校長 森山 隆弘
10	小中学校長代表	松阪市立殿町中学校 校長 青木 俊幸
11	小中学校PTA代表	松阪市PTA連合会 代表 鈴木 寛子
12		多気郡PTA連合会 代表 西 大輔
13	高等学校PTA代表	松阪地区高等学校PTA連合会 代表 清水 竜也
14	小中学校教職員代表	明和町立明和中学校 教諭 濱田 学
15	高等学校教職員代表	県立松阪工業高等学校 教諭 富田 守

令和4年度の協議について

1 はじめに

少子化の進行とともに、予測困難なほど社会情勢が大きく変化する中、子どもたちを取り巻く教育的課題はより複雑化・多様化し、さらにコロナ禍により学校のあり方や教育そのものの意義も問われています。このような状況の中、令和4年3月に、これからの時代を生きていく高校生に育む力や、本県の県立高等学校で進めていく教育など、これからの三重の高校教育のあり方を示す「県立高等学校活性化計画（令和4年度から5年間）」【別冊資料参照】を策定しました。

2 協議の進め方

「県立高等学校活性化計画」に基づき、松阪地域における活性化協議会として「松阪地域高等学校活性化推進協議会」を設置し、松阪地域での県立高等学校の学びと配置のあり方について検討を進めていきます。

令和3年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、今後の松阪地域の県立高等学校の総学級数は段階的に減少していくことが見込まれます。協議会では、これからの時代に求められる学びの提供を実現するため、松阪地域の高等学校の学びと配置のあり方について、具体的な対応もあわせて検討を進め、その中で1学年3学級以下の高等学校については統合についての協議も行います。こうした検討・協議は、統合という結論ありきで協議するのではなく、地域の実情に応じ丁寧に進めていきます。

今年度の協議会では、地域の県立高等学校の現状と取り巻く状況、今後の地域の少子化の進行などについての情報を共有するとともに、今後の松阪地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について協議します。

今後の松阪地域の中学校卒業生数と県立高校の学級数の予測

	中学校卒業生数の予測	県立高校学級数の予測（R5年度は実数）
令和5年3月卒（現中3）	1,937人	26
令和6年3月卒（現中2）	1,843人	25
令和7年3月卒（現中1）	1,855人	25
令和8年3月卒（現小6）	1,804人	24
令和9年3月卒（現小5）	1,778人	24程度
令和10年3月卒（現小4）	1,748人	24程度
令和11年3月卒（現小3）	1,573人	21程度

松阪8、松工5
松商4、相可5
飯南2、昴学園2

令和5～6年度に
協議

令和7年度末を
めどに協議

※中学校卒業生数(予測)は、令和4年5月1日時点の教育政策課による予測数値

※学級数については、松阪地域における県立高校と私立高校の募集定員の比率、中学校卒業生が市町を越えて高校進学する比率等が、現在と大きく変わらない場合の予測に基づく。

資料 2

松阪地域 中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

令和4年5月1日 教育政策課調べ

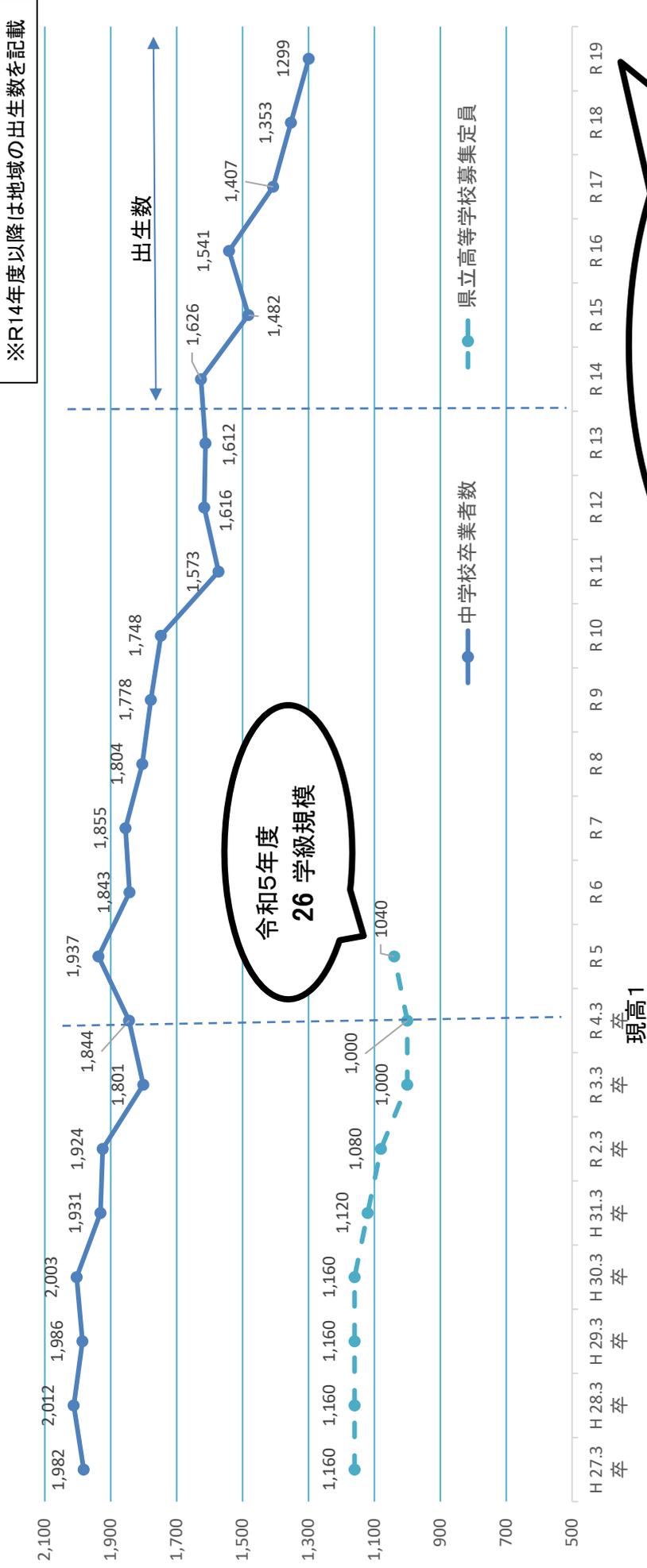
	H 31.3 卒業	R 2.3 卒業	R 3.3 卒業	R 4.3 卒業	R 5.3 現中3	R 6.3 現中2	R 7.3 現中1	R 8.3 現小6	R 9.3 現小5	R 10.3 現小4	R 11.3 現小3	R 12.3 現小2	R 13.3 現小1
松阪市	卒業生数	1,487	1,483	1,390	1,459	1,459	1,423	1,387	1,416	1,330	1,228	1,214	1,243
	前年度対比		-4	-93	73	0	-36	-36	29	-86	-102	-14	29
	R4.3対比				73	73	37	1	30	-56	-158	-172	-143
多気郡	卒業生数	444	441	411	478	384	432	417	362	418	345	402	369
	前年度対比		-3	-30	20	-94	48	-15	-55	56	-73	57	-33
	R4.3対比				20	-74	-26	-41	-96	-40	-113	-56	-89
小計	卒業生数	1,931	1,924	1,801	1,937	1,843	1,855	1,804	1,778	1,748	1,573	1,616	1,612
	前年度対比		-7	-123	93	-94	12	-51	-26	-30	-175	43	-4
	R4.3対比				93	-1	11	-40	-66	-96	-271	-228	-232
県内合計	卒業生数	16,811	16,489	15,777	16,044	15,880	15,607	15,433	15,225	14,717	14,358	14,053	14,006
	前年度対比		-322	-712	-200	-164	-273	-174	-208	-508	-359	-305	-47
	R4.3対比				-200	-364	-637	-811	-1,019	-1,527	-1,886	-2,191	-2,238

松阪地域高校 (県立全日)	学級数(募集)	28	27	25	25	26							
	欠員	17	79	29	28	-							
県内(県立全日)	学級数(募集)	293	285	271	274	268							
	欠員	192	343	325	324	-							

三重	募集	530	530	530	540	535							
	入学者数	591	624	548	584	-							

松阪地域の中学校卒業生数(予測)と県立高等学校募集定員

資料3



令和19年度 (15年後)
 松阪地域県立高等学校
 募集定員総数の見込み
15~18学級規模

松阪地域の出生数

年度	出生数	出生数	出生数	出生数	出生数	出生数	出生数	出生数	出生数	出生数
年度	現小1	H27年度出生	H28年度出生	H29年度出生	H30年度出生	R1年度出生	R2年度出生	R3年度出生	R3年度出生	R3年度出生
松阪市	1,353	1,299	1,159	1,115	1,089	1,018	1,018	1,018	1,018	1,018
多気郡	324	327	323	292	264	281	281	281	281	281
合計	1,677	1,626	1,482	1,407	1,353	1,299	1,299	1,299	1,299	1,299

松阪地域の高等学校の学科・コースについて（R5年度）

1. 全日制課程

県立（1040人）

- ・松阪高等学校（松阪市） 普通科：240人、理数科80人
- ・松阪工業高等学校（松阪市） 工業化学科：40人、機械科：40人
繊維デザイン科40人、自動車科：40人
電気工学科：40人
- ・松阪商業高等学校（松阪市） 総合ビジネス科：120人
国際ビジネス科：40人
- ・相可高等学校（多気町） 普通科：80人、生産経済科：40人、
環境創造科40人、食物調理科：40人
- ・飯南高等学校（松阪市） 総合学科：80人
【系列】郷土・環境、介護福祉、総合進学、コンピュータ
- ・昴学園高等学校（大台町） 総合学科：80人
【系列】国際交流、総合スポーツ、美術工芸、生活福祉、環境技術

私立（535人）

- ・三重高等学校（松阪市） 普通科：535人
進学コース・特進コース・六年制

2. 定時制課程

- 県立**・松阪工業高等学校（松阪市） 普通科：40人

3. 通信制課程

- 県立**・松阪高等学校（松阪市） 普通科：200人

○ 課程

- ・全日制：通常の時間帯において授業を行う課程
- ・定時制：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程
- ・通信制：通信による教育を行う課程

○ 学科

- ・普通科：普通教育を主とする学科
※普通科、普通教育を施す学科として適当な規模及び内容があると認められる学科（学際領域に関する学科、地域社会に関する学科）
- ・専門学科：専門教育を主とする学科
※農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科
福祉科、理数科、体育科、音楽科、美術科、外国語科
国際関係科、その他専門教育を施す学科
- ・総合学科：普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科
※総合学科の特色
幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能
生徒の個性を生かした主体的な学習を重視
将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視 など

松阪地域の高等学校の学科・コースについて(令和5年度)

学校名	大学科	募集定員(R5)	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	理数科	理数科
松阪高校	普通科	320	工業化学科	機械科	繊維デザイン科	自動車科	電気工学科					
松阪工業高校	専門学科	200	総合ビジネス科	総合ビジネス科	国際ビジネス科							
松阪商業高校	専門学科	160	普通科	普通科	生産経済科	環境創造科	食物調理科					
相可高校	普通科 専門学科	200	総合ビジネス科	総合ビジネス科	郷土・環境、介護福祉 総合進学、コンピュータ							
飯南高校	総合学科	80	普通科	普通科	国際交流、総合スポーツ 美術工芸、生活福祉、環境技術							
昂学園高校	総合学科	80	普通科	普通科								
三重高校	普通科	535	普通科:535人、進学コース、特進コース、六年制									

松阪地域全日制課程

松阪地域中学校
卒業者数
R5.3卒予測
1,937人

全26学級
普通科10
専門学科12
(工業5)
(商業4)
(農業2)
(家庭1)
総合学科4

○定時制課程 松阪工業高校 40人 普通科 ○通信制課程 松阪高校 200人 普通科

資料4②

【参考】伊賀地域全日制課程

学校名	大学科	募集定員(R5)	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	理数科	理数科
上野高校	普通科	240	機械科、電子機械(ロボット、電気工学)、建築デザイン(建築・インテリア・デザイン)、生物資源 フードシステム(フードサイエンス、パティシエ)、経営、ヒューマンサービス(介護福祉、生活福祉)									
伊賀白鳳高校	専門学科	240	製菓調理、美容服飾 情報教養、健康福祉									
あけぼの学園高校	総合学科	80	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
名張青峰高校	普通科	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	文理探究 コース	
名張高校	総合学科	200	文理アドバンス、総合ビジネス、健康スポーツ、表現デザイン									
桜丘高校	普通科	155	普通科:155人									

伊賀地域中学校
卒業者数
R5.3卒予測
1,420人

全25学級
普通科12
専門学科6
(工業※3)
(商業※1)
(農業※2)
(福祉※1)
総合学科7

※伊賀白鳳高校は240人定員、7学級展開

全日制高等学校の設置学科と学級数の推移(松阪地域)

資料5

学校名	学科名	学級数																																		
		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5
松阪	普通	8	8	8	9	9	9	9	9	9	10	10	9	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	6	
	理数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	生活科学	2	2	2	1	1	1	1	1																											
	計	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	11	11	10	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	8	
松阪工業	機械	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	
	工業化学	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	繊維工学	1	1																																	
	繊維デザイン			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	自動車	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	電気工学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	計	8	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	
松阪商業	商業	7	5	4																																
	国際経済				3	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2																					
	国際情報		2	2	2	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3																					
	情報ビジネス															4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2			
	情報システム															1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	総合ビジネス																																		3	3
	国際ビジネス																																		1	1
	計	9	9	8	7	9	8	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4
飯南	普通	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																									
	総合学科											3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
相可	普通	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	
	農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																							
	生産経済															1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	農業土木	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1														
	環境創造																						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	計	8	8	7	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5	5	
宮川	普通	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	情報・ビジネスコース											1	1	1	1	1	1	1																		
	計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
昴学園 H7.4萩原より 校名変更	普通	1	1	1	1	1																														
	土木	1	1	1	1	1																														
	総合技術						1																													
	計	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
学級数の計		44	44	42	40	43	40	40	40	38	40	40	38	36	35	34	34	33	31	31	31	31	30	30	30	30	30	29	29	29	29	28	27	25	25	26

普通科、専門学科、総合学科別の学級数の推移(松阪地域)

学科	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	
普通科	19	19	18	19	20	18	18	18	18	19	16	15	14	14	14	14	13	12	12	12	12	10	10	10	10	10	9	9	9	9	8	8	7	7	8	
農業科	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
工業科	8	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	
商業科	7	7	6	5	7	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	
家庭科	4	4	4	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
その他	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	
総合学科							2	2	2	2	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級数の計	44	44	42	40	43	40	40	40	38	40	40	38	36	35	34	34	33	31	31	31	31	30	30	30	30	30	29	29	29	29	28	27	25	25	26	

松阪地域の中学校卒業生進学先の推移

資料6

松阪地域(1市3町)の状況

	卒業年度	卒業生数	松阪地域県立							松阪地域私立		松阪地域外				その他		
			松阪	松工	松商	飯南	相可	昂	三重		伊勢志摩地域県立高	津地域県立高	県内私立高、高専	他	定時制	通信制	他	
1市3町の合計	3年度	1844	209	137	104	79	125	22	36.7%	362	19.6%	155	241	213	39	40	97	21
	2年度	1801	198	152	104	77	120	15	37.0%	366	20.3%	142	235	188	42	55	81	26
	元年度	1924	237	164	77	75	125	17	36.1%	431	22.4%	160	229	194	42	48	82	43

市町別の状況

	卒業年度	卒業生数	松阪地域県立							松阪地域私立		松阪地域外				その他		
			松阪	松工	松商	飯南	相可	昂	三重		伊勢志摩地域県立高	津地域県立高	県内私立高、高専	他	定時制	通信制	他	
松阪市	3年度	1386	156	114	73	63	70	4	34.6%	309	22.3%	65	225	143	30	36	82	16
	2年度	1390	152	125	73	62	80	4	35.7%	318	22.9%	66	216	136	29	47	68	14
	元年度	1483	187	138	52	61	66	5	34.3%	371	25.0%	71	213	142	37	38	69	33
多気町	3年度	183	18	4	16	16	37	2	50.8%	21	11.5%	24	7	22	6	2	6	2
	2年度	163	28	7	12	15	29	2	57.1%	15	9.2%	19	6	11	5	3	7	4
	元年度	165	19	4	2	14	37	2	47.3%	28	17.0%	22	3	20	1	1	7	5
明和町	3年度	195	22	13	13	0	6	1	28.2%	20	10.3%	59	8	39	3	2	9	0
	2年度	188	9	17	17	0	2	1	24.5%	23	12.2%	54	12	35	3	5	5	5
	元年度	204	20	21	18	0	8	0	32.8%	14	6.9%	59	12	29	4	9	6	4
大台町	3年度	80	13	6	2	0	12	15	60.0%	12	15.0%	7	1	9	0	0	0	3
	2年度	60	9	3	2	0	9	8	51.7%	10	16.7%	3	1	6	5	0	1	3
	元年度	72	11	1	5	0	14	10	56.9%	18	25.0%	8	1	3	0	0	0	1

【令和3年度中学校卒業生(現高1)の松阪地域全日制高校以外への進学者数】

* 松阪地域外 合計648人

- ・ 伊勢志摩地域県立：明野(33)、宇治山田(46)、伊勢(21)、宇治山田商(22)、伊勢工(15)
南伊勢(5)、鳥羽(9)、水産(4) 【合計155人】
- ・ 津地域県立：津(29)、津西(23)、津商(18)、津東(29)、津工(12)、久居(37)
久居農林(67)、白山(26) 【合計241人】
- ・ 県内私立高、高専：鈴鹿(12)、高田(48)、セントヨゼフ(2)、皇学館(41)、伊勢学園(81)
鳥羽商船(10)、鈴鹿工専(9)、近大高専(10) 【合計213人】
- ・ 他：桑名(1)、いなべ総合(1)、四西(1)、四工(1)、四中工(2)、四商(2)、飯野(3)、白子(4)
稲生(3)、亀山(1)、伊賀白鳳(1)、県外国公立全日制(1)、県外私立全日制(18) 【合計39人】

* その他 合計158人

- ・ 定時制課程：松阪工(4)、みえ夢(29)、伊勢まなび(7) 【合計40人】
- ・ 通信制課程：松阪(9)、英心(43)、一志学園(12)、大橋(5)、徳風(3)、代々木(1)
県外通信制(24) 【合計97人】
- ・ 他：就職・専修・その他(12)、特別支援学校(9) 【合計21人】

松阪地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況【令和5年度】

学校名	学科・コース	入学定員	12月16日時点の進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			日程
			定員との差	募集定員	志願者数	合格内定者数	募集定員	志願者数(3月6日)	志願倍率(3月6日)		
松 阪	普通	240	205	▲ 35	-	-	-	240	189	0.79	後期選抜 実施日 3月9日 合格者 発表 3月17日 追検査・ 再募集の 検査 3月23日 追検査・ 再募集の 合格者 発表 3月27日
	理数	80	216	136	40	217	41	39	155	3.97	
	計	320	421	101	40	217	41	279	344	1.23	
松阪工業	機械	40	49	9	20	47	22	18	19	1.06	
	電気工学	40	48	8	20	45	22	18	21	1.17	
	工業化学	40	24	▲ 16	20	27	22	18	13	0.72	
	繊維デザイン	40	59	19	40	59	40	-	-	-	
	自動車	40	56	16	20	53	22	18	19	1.06	
	計	200	236	36	120	231	128	72	72	1.00	
松阪商業	総合ビジネス科	120	112	▲ 8	60	110	66	54	54	1.00	
	国際ビジネス科	40	25	▲ 15	20	24	22	18	9	0.50	
	計	160	137	▲ 23	80	134	88	72	63	0.88	
飯 南	総合学科	80	53	▲ 27	40	41	53	27	14	0.52	
相 可	普通	80	78	▲ 2	24	77	27	53	53	1.00	
	生産経済	40	53	13	20	52	22	18	25	1.39	
	環境創造	40	43	3	20	42	22	18	18	1.00	
	食物調理	40	52	12	40	52	40	-	-	-	
	計	200	226	26	104	223	111	89	96	1.08	
昂学園	総合学科	80	47	▲ 33	80	90	80	-	-	-	
地域内県立高校 計		1040	1120	80	464	949	501	539	589	1.09	

※「12月16日時点の進学希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された調査結果(R5. 1. 13)による。

松阪地域の県立高等学校(全日制)の入学選抜の状況【令和4年度:現高1】

学校名	学科・コース	入学定員	12月時点の進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			追検査・再募集			入学者数	欠員
			定員との差	募集定員	志願者数	合格内定者数	募集定員	志願者数	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数			
松阪	普通	200	151	▲49	-	-	-	200	148	200				200	
	理数	80	180	100	40	175	40	40	120	40				80	
	計	280	331	51	40	175	40	240	268	240	0	0	0	280	0
松阪工業	機械	40	43	3	20	42	22	18	20	18		1	1	41	
	電気工学	40	39	▲1	20	39	22	18	20	18		1	1	41	
	工業化学	40	35	▲5	20	34	22	18	13	14	4	1	1	37	3
	繊維デザイン	40	50	10	40	50	40	-	-	-				40	
	自動車	40	33	▲7	20	34	22	18	10	9	9	2	2	33	7
	計	200	200	0	120	199	128	72	63	59	13	5	5	192	8
松阪商業	総合ビジネス科	120	118	▲2	60	114	66	54	57	54				120	
	国際ビジネス科	40	25	▲15	20	23	20	20	16	18	2	3	3	41	
	計	160	143	▲17	80	137	86	74	73	72	2	3	3	161	0
飯南	総合学科	80	81	1	40	64	61	19	19	18	1	0	0	79	1
相可	普通	80	79	▲1	24	74	27	53	55	53				80	
	生産経済	40	35	▲5	20	35	22	18	15	16	2	1	1	39	1
	環境創造	40	44	4	20	44	22	18	22	18				40	
	食物調理	40	28	▲12	40	31	29	-	-	-	11	1	1	30	10
	計	200	186	▲14	104	184	100	89	92	87	13	2	2	189	11
昂学園	総合学科	80	58	▲22	80	75	71	-	-	-	9	1	1	72	8
地域内県立高校 計		1000	918	▲1	464	851	486	494	515	476	38	11	11	973	28

新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ（概要） ～多様な生徒が社会とつながり、学ぶ意欲が育まれる魅力ある高等学校教育の実現に向けて～

（令和2年11月13日）

第1章 高等学校教育を取り巻く現状と課題認識

- 高等学校には多様な入学動機や進路希望、学習経験などを持つ生徒が在籍している現状を踏まえた教育活動が極めて重要
- 高校生の学校生活への満足度や学習意欲は中学校段階に比べて低下しており、高校生の学習意欲を喚起するためのものへと転換することが必要
- 大学入学や就職等の出口のみを目標とすることなく、他分野に関する理解や、新たなことを学び、挑戦する意欲を育むための学びが不可欠
- 産業構造や社会システムの激変、少子化の進行等の社会経済の有り様を踏まえた高等学校教育の在り方の検討が必要

第2章 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を通じて再認識された高等学校の役割・在り方

- 学習機会と学力を保障するという役割のみならず、生徒にとって安全・安心な居場所を提供するという福祉的機能や、社会性・人間性を育むといった社会的機能をも有するという高等学校の多面的な役割・在り方を再認識
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、生徒が長期間登校できない状況下において、ICTも最大限活用した学習保障の必要性が顕在化
- 遠隔・オンラインが対面・オフラインかという二元論に陥らず、最適な組合せによって、全ての生徒の可能性を引き出す学びの実現が必要

これらの前提を踏まえ、以下の方策を実施

第3章 高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化に向けた方策【1. 各学科に共通して取り組むべき方策】

- (1) 現代的な諸課題に対応し、20年後・30年後の社会像を見据えて必要となる資質・能力の育成
 - 国内外の大学、企業、地元市町村等の関係機関と連携した高度かつ多様な学びの提供
- (2) 地域の実態に応じた多様な高等学校教育の実現
 - 中山間地域・離島等に立地する小規模高等学校が教育課程の共通化・相互互換を図ることで、地理的制約を超えて教育資源を効果的に活用
 - 都道府県は、地元市町村等との丁寧な意見交換を通じて公立高等学校の在り方を検討。その際、総合教育政策会議を活用した首長部局との連携も有効
- (3) 各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化（スクール・ミッションの再定義）
 - 各設置者が、各高等学校の存在意義や社会的役割、目指すべき学校像をスクール・ミッションとして再定義
- (4) 各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針（スクール・ポリシー）の策定
 - 各高等学校は、高等学校教育の入口から出口までの教育活動を一貫した体系的なものに再構築するため、「育成を目指す資質・能力に関する方針」「教育課程の編成及び実施に関する方針」「入学者の受入れに関する方針」（仮称）を策定・公表
- (5) 地域社会や高等教育機関等の関係機関と連携・協働した学びの実現
 - 各高等学校の目的を踏まえ、地域社会や高等教育機関等との連携・協働を推進（例：地元市町村等との協働体制であるコンソーシアムの構築）

第3章 高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化に向けた方策

【2. 学科の特質に応じた教育活動の充実強化】

（1）普通科改革

- 各設置者の判断により、「普通教育を主とする学科」として、下記のような特色・魅力ある学科の設置を可能化

【学際的な学びに重点的に取り組む学科】

- …SDGsの実現やSociety5.0の到来に伴って生じる諸課題に着目し、国際社会及び日本社会における課題の発見・解決に資する資質・能力を育成
- …国内外の高等教育機関や国際機関、国の機関等との連携・協働により、大学教育の先取り履修や高大連携講座の仕組みの構築などを実施

【地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科】

- …地元市町村を中心とする地域社会の有する課題・魅力に着目し、地域社会の持続的な発展や価値の創出に資する資質・能力を育成
- …地元の市町村、高等教育機関、企業・経済団体等との連携・協働により、フィールドワークや事例研究、社会人講座などを実施

【その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科】 …上記2 学科を参照しつつ育成を目指す資質・能力を設定し、関係機関との連携・協働した教育を実施

（2）専門学科改革

- 産業界を核として地域の産官学が一体となって、将来の地域産業界・高等学校段階での人材育成の在り方を検討し、それに基づく教育課程を開発・実践
 - 産業教育施設・設備の計画的な整備、これを支える財政的措置の充実、地元企業の施設の活用等の工夫による最先端の施設・設備に触れる機会を創出
- #### （3）新しい時代に求められる総合学科の在り方
- 多様な科目開設を実現するために、ICTも活用して他校の科目を履修して単位認定する仕組みの活用や、外部人材の活用を推進

第4章 定時制・通信制課程等における多様な学習ニーズへの対応と質保証

【1. 定時制・通信制課程等における多様な学習ニーズへの対応】

- 制度創設時と異なり勤労青年に限らず多様な生徒が在籍している定時制・通信制課程の現状を踏まえ、多様な生徒のニーズにきめ細かく対応するため、SC・SSW等の専門スタッフの充実、関係機関との連携促進、ICTの効果的な活用、少年院在院者への高等学校教育機会の提供等を推進

【2. 高等学校通信教育の質保証方策】

（1）教育課程の編成・実施の適正化

- 各年度における添削指導・面接指導・試験の年間計画等を「通信教育実施計画」(仮称)として策定・明示することを義務付け
- 面接指導は少人数で行うことを基幹とすることや、集中スクーリングにおいて1日に実施する面接指導の時間を適切に定めること、多様なメディアを利用して行う学習の報告課題等に対する観点別学習状況の評価の実施、試験の実施時間・時期を適切に設定することなどを明確化

（2）サテライト施設の教育水準の確保

- 実施校の責任下におけるサテライト施設の把握・管理、情報開示の徹底、面接指導等実施施設の共通の基準に関して実施校と同等の教育環境を確保

（3）多様な生徒にきめ細かく対応するための指導体制の充実

- 養護教諭、SC・SSW等の専門スタッフの充実や関係機関等との連携促進を図るとともに、きめ細かく指導・支援を実現するための教諭等の人数を明確化

（4）主体的な学校運営改善の徹底

- 法令に基づき学校評価の実施・公表の徹底とともに、「自己点検チェックシート」(仮称)に基づき自己点検の実施・公表
- 教員・生徒・教育課程・施設設備等に関する学校の基本情報の開示を義務付け。ICTを基盤とした先端技術の効果的な活用に向けた実証研究を実施